

ごうはん 第5回全国合板1枚・作品コンペ実施要項

1. 「合板1枚・作品コンペ」の開催趣旨

木質材料、木質建材の代表格「合板」が我が国に誕生して、1世紀余りになります。現在では、国内の多くの建築物には合板が使われていないものは無いといっても過言ではありません。そして、多くの合板は、住宅の構造材料のみならず内装材、家具材料として住まいの国民生活をしっかりと大きく支えてきています。

しかし、こんなに身近に大量に使用され、住宅を支える重要な建築材料の合板であるにも関わらず、その多くは壁の中、屋根裏、床下などで裏方として世の表舞台になかなか登場することがありません。

そこで、この合板1枚・作品コンペでは、合板の魅力を目に見える形で、全面的に活かした建築材料、家具材料、造形材料、ものづくり工作材料、美術・工芸材料、生活材料、教育文化材料など広範囲な分野で、一般生活者の皆様方からお知恵をいただき、よりよい合板の魅力を発掘してもらおうとするのが趣旨です。

また、2012年に日本合板工業組合連合会及びNPO法人木材・合板博物館によって、日本で最初に合板製造が開始された11月3日が「合板の日」として制定されました。この「合板の日」制定の記念行事の重要な一つとして、合板の国民生活への必要性や重要性。さらには木質材料「合板」としての魅力を後世に引き継ぐことを目的に本コンペを実施することといたしました。

今日、「合板」は「森林・林業基本計画」の目標達成や「東日本大震災の復興」に大きく貢献しています。そして、大気中のCO₂の合板への固定による地球温暖化防止に貢献し、日本の森林・林業と山村の振興に大きな期待が寄せられているところです。

さらには、合板素材の木材は、地球と人類に優しい「持続可能で再生可能な循環天然資源」でできております。

この地球環境に良い合板の、強さ、美しさ、優しさ、おもしろさ、ユニークさ、繊細さなど多面的な合板の魅力を多くの国民の皆さんによって、引き出していただきたいのです。

2. 作品募集部門

次の2部門で募集します。

- ①一般の部（高校生以上）
- ②ジュニアの部（小学生・中学生）

高校生、高専生、大学生、特別支援学校生などはそれぞれの教育課程の特性を配慮して審査します。

3. 審査基準

本コンペの趣旨を踏まえ、以下の項目を考慮して審査します。

- ①合板の良さ、美しさ、おもしろさなどが活かされているもの
- ②合板1枚を有効に利用しているもの
- ③合板の利用について普及効果があるもの
- ④合板の新たな用途開拓を見出したもの
- ⑤合板の強度特性、物理的特性を活かしたもの

4. 応募条件

上記の「審査基準」や下記の「作品規格」に従って、制作したオリジナルで未発表のものであること。著作権、工業所有権を侵害すると判断されたものは除外されます。

応募は個人又はグループのいずれでも可能です。

「作品規格」

- ①合板1枚とは、板幅90cm×板の長さ180cmの3*6（サブロク）サイズ1枚の面積のことです。板厚は自由です。使用合板は1枚以下でも結構です。

ただし、各種の板厚の合板を組み合わせる場合は、合計の面積が 90cm ×180cm=16,200 cm²になるように使用してください。

②家具金具（丁番、取手、キャッチャーなど）、補強金具、接合金具などは自由に使用できます。

③作品に色を塗ったり、絵を描いたり、彫刻、布貼りなどの表面装飾を行うこともできます。

④特殊な合板を製造して使用する場合や、特殊な規格の合板を使用する場合は事務局にお問い合わせください。

《留意事項》

すべての応募作品の権利（著作権など）は制作者に帰属します。しかし、入賞、出展作品の展示及び作品集などの印刷物への使用上の権利は主催者に帰属します。作品の返却は送料など自己負担で行っていただきます。

上位入賞作品については、主催団体および関係団体による展示場やイベント会場などでの作品紹介を目的として、寄贈をお願いする場合があります。

5. 応募方法

応募は2段階に分けて行います。最初1次応募を書類でしていただき、その書類審査を行います。次に、1次応募で選ばれた作品について、2次応募を実物作品でしていただき、その実物作品の審査を行います。

1次応募期間：平成30年8月20日（月）～平成30年9月7日（金）必着
（作品の書類のみをお送りください）

2次応募期間：平成30年9月25日（火）～平成30年10月5日（金）必着
（作品の実物をお送りください）

（応募先及び方法）

ホームページ(<http://gouhancompe.jp/>)上から1次応募用紙をダウンロードし、応募用紙に、作品の設計図、作品の正面、側面、平面の3方向から撮影した写真、スケッチ（フリーハンドでも可）などで作品の寸法、構造、機能や特徴を記入したものを郵送にて下記の事務局まで締め切り日必着で送付してください。

1次審査合格者の方は、2次審査を作品実物で行います。各自でダンボール箱などで梱包し、所定の用紙（1次審査合格者に合格通知とともに送付します）を貼り付けて、送料応募者負担で、締め切り日必着で事務局まで送付してください。また、お送りした宅急便伝票には作品の返送先の宛名、氏名などを記入して、作品と同時にお送りください。

応募・送付先、事務局

〒338-8570

さいたま市桜区下大久保 255

埼玉大学教育学部生活創造講座技術分野 浅田茂裕（あさだ しげひろ）

電話・FAX 048-858-3229

E-mail golcompe@gmail.com

6. 審査結果発表

1次審査結果発表：平成30年9月14日（金）

ホームページ (<http://gouhancompe.jp/>) 上で発表します。

また、1次審査合格者には、郵送でお知らせし、作品実物を2次応募期間中に事務局まで送ってください。

2次審査結果発表：平成30年10月26日（金）10時から

ホームページ (<http://gouhancompe.jp/>) 上で発表します。

7. 表彰

最優秀賞（林野庁長官賞：一般の部）	副賞：賞金 20 万円	1 件
最優秀賞（林野庁長官賞：ジュニアの部）	副賞：賞金 8 万円（図書カード）	1 件
公益社団法人 日本木材加工技術協会会長賞	副賞：賞金 7 万円	1 件
日本合板工業組合連合会会長賞	副賞：賞金 7 万円	1 件
公益財団法人 PHOENIX 木材・合板博物館理事長賞	副賞：賞金 7 万円	1 件
「合板 1 枚・作品コンペ発祥の地 島根」賞 （アイデア、奇抜さ、新規性、おもしろさに優れた作品へ贈る賞）	副賞：賞金 7 万円	1 件
「倉澤 實 デザイン」賞 （美術彫刻、造形に特に優れた作品へ贈る賞）	副賞：賞金 5 万円	1 件
「山下晃功 木育」賞（ジュニアの部） （児童・生徒が合板の特性を活かし、若人らしく工夫・創造し、顕著に努力した力作に贈る賞。小学生、中学生から各 1 名）	副賞：賞金 3 万円（図書カード）	2 件
優秀賞	副賞：賞金 2 万円	1 件
奨励賞 （小学生、中学生、高校生、高専生、大学生などの若人を対象に、今後の向上に期待できる作品に贈る賞。それぞれ数名）	副賞：記念品	数件
努力賞	副賞：記念品	数件
プライグッド賞（仮称・新設） （すべての作品のうち、商品化の可能性が高く、合板の新たな用途開拓に資するもの。選ばれた作品については、事務局が製品化のためのマッチング等をお手伝いします。）	副賞：記念品	数件

※高校生（高専 3 年生以下を含む）以下が受賞した場合、現金ではなく同額の図書カードを贈呈します。小学生、中学生、高校生、高専生、大学生、特別支援学校生などはそれぞれの教育課程の特性を配慮して審査します。

8. 表彰式

表彰式は木材・合板博物館（東京・新木場）において平成 30 年 12 月 2 日（日）に行います。

9. 入賞作品展示

入賞作品を広く紹介させていただくために、表彰式と並行して入賞作品展示会を開催し、下記の期間に開催します。

日時 平成 30 年 11 月 3 日（土）～平成 30 年 12 月末
場所 木材・合板博物館（東京・新木場）

10. 受賞作品の紹介

主催団体、後援団体、協賛団体が責任を持つ誌（紙）面媒体、ホームページ（<http://gouhancompe.jp/>）にて発表します。

11. 主催団体

公益社団法人 日本木材加工技術協会
日本合板工業組合連合会

公益財団法人 PHOENIX (木材・合板博物館)
日本合板商業組合

12. 協賛団体(予定)

一般財団法人 田部謝恩財団
合成樹脂工業協会 接着剤部会
一般社団法人 日本木工機械工業会
公益財団法人 日本合板検査会
国立大学法人 埼玉大学
東京合板工業組合
木育全国生産者協議会
学研パブリッシング刊・ドゥーパ!編集部
株式会社日刊木材新聞社
海青社 他

13. 後援団体(予定)

林野庁
埼玉県教育委員会 (予定)
さいたま市教育委員会 (予定)
一般社団法人 日本木材学会
日本産業技術教育学会木材加工分科会
日本木材青壮年団体連合会
全日本中学校技術・家庭科研究会
公益社団法人 全国中学校産業教育教材振興協会
一般社団法人 日本DIY協会
全国高等学校建築教育連絡協議会
公益社団法人 全国工業高等学校長協会
一般社団法人 全国高等専門学校連合会
開隆堂出版株式会社
東京書籍株式会社
株式会社テクノ教育
埼玉新聞社 (未定) 他

14. 合板1枚・作品コンペ実行委員会

実行委員長	埼玉大学教育学部教授	浅田 茂裕
副実行委員長	島根大学名誉教授	山下 晃功
	木材・合板博物館副館長	平川 泰彦
	日本合板工業組合連合会専務理事	川喜多 進
実行委員	東京学芸大学准教授 (表彰式担当)	大谷 忠
	横浜国立大学准教授 (審査、庶務担当)	小林 大介
	埼玉大学准教授 (応募作品保管、審査会場)	石上 城行
	東京大学准教授 (審査、応募作品管理)	青木 謙治
	上越教育大学准教授 (報告書、表彰式担当)	東原 貴志

	関東学院中学高等学校教諭 (WEB,広報担当)	寺島 徹
	木材青壮年団体連合会木育推進委員長 (広報担当)	甲村 耕三
	静岡大学助教 (記録、報告書担当)	田中 孝
	木材・合板博物館職員 (会場、応募作品管理担当)	長谷川麻紀
	木材・合板博物館職員 (会場・入賞作品管理担当)	赤石 和義
	ものづくり大学准教授 (表彰式、広報担当)	佐々木昌孝
	日本木材加工技術協会参与 (渉外担当)	海老原 徹
実行委員 (主催団体)	公益社団法人 日本木材加工技術協会会長	服部 順昭
〃	日本合板工業組合連合会会長	井上 篤博
〃	公益財団法人 木材・合板博物館理事長	吉田 繁
〃	日本合板商業組合理事長	足立建一郎
〃 (顧問)	ものづくり大学学長	赤松 明

15. 合板1枚・作品コンペ審査委員会(主に第2次審査を担当)

審査委員長	東京大学名誉教授	安藤直人※
副審査委員長	島根大学総合理工学部准教授	吉延匡弘
審査委員	一般財団法人 田部謝恩財団理事長 (「合板1枚・作品コンペ発祥の地 島根」賞担当)	又賀航一
〃	公益社団法人日本木材加工技術協会合板部会長 森林総合研究所複合材料研究領域長	塔村真一郎
〃	公益財団法人日本合板検査会 理事長	河野元信
〃	東京おもちゃ美術館館長 (「山下晃功 木育」賞担当)	多田千尋
〃	一般社団法人日本家具産業振興会会長	加藤知成
〃	一般社団法人日本D I Y協会専務理事	細矢佑二
〃	全国造形教育連盟委員長	
〃	公益社団法人全国工業高等学校長協会「全国インテリア教育研究会」会長 松本光正	
〃	公益財団法人 PHOENIX (木材・合板博物館) プロデューサー 長谷川麻紀	
〃	女性木工指導者	番匠智香子
〃	「一枚の合板から」展主宰、建築家	田中敏博

- | | | |
|---|---------------------------------|--------|
| 〃 | 「ドゥーパ」編集長 | 豊田大作 |
| 〃 | 埼玉大学教育学部准教授
（「倉澤 實 デザイン」賞担当） | 石上城行 |
| 〃 | ものづくり大学准教授 | 佐々木昌孝※ |

※第1次審査も担当